

中津川市スポーツ推進計画（概要版）

《計画の基本的な考え方》



基本方針1

一市民1スポーツ

ライフステージに合わせて、身近なスポーツに取り組み裾野を広げていきます。

基本方針2

スポーツが深める地域の絆

地域コミュニティの維持・活性化を進め、世代間を超えた交流の促進を図ります。

基本方針3

充実したスポーツ環境

健康づくりを目的として、身近な地域に、ウォーキング・ジョギングコースの設定を行います。

～みんな元気 健康スポーツのまち～

スポーツで人と地域が かがやくまち なかつがわ



《計画の概要》

1 趣旨

■国「スポーツ基本法」

目的：国民の心身の健全な発達、明るく豊かで活力ある社会を実現する

理念：スポーツは、生涯にわたり自主・自律的に、ライフステージに応じて行なえるよう推進する

■国「スポーツ基本計画」

目的：「スポーツ基本法」の理念の具現化と、スポーツ推進の基本計画を策定する

基本方針：広く人々が、スポーツに参画することができる環境を整備し、スポーツ立国の実現を目指す

■中津川市「スポーツ推進計画」

基本理念：スポーツを通して健康づくりと地域の絆を深める、いきいきと暮らせるまちづくり

基本方針：「一市民1スポーツ」「スポーツが深める地域の絆」「充実したスポーツ環境」の三本柱で推進する

2 計画の位置づけ

◎本計画は、国の「スポーツ基本法」「スポーツ基本計画」を参照する。

◎本計画は、県の「岐阜県清流の国スポーツ推進条例」「清流の国ぎふスポーツ推進計画」の趣旨・方向性を踏まえる。

◎本計画は、市の「中津川市総合計画」に基づく。

3 計画期間

◎平成27年度（2015年度）から平成38年度（2026年度）までの12年間とする。

◎平成32年度（2020年度）には、市民の意向調査をはじめ、適宜見直しを実施する。



■ぎふ清流国体・ぎふ清流大会「レスリング」



■中津川公園野球場「夜明け前スタジアム」



中津川市スポーツ推進計画 体系図



【現状と課題】

- 市内で観戦したいプロ・トップスポーツでは、野球・バレーボール・サッカーなどの希望がある
- 2020年の東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けた取り組みとしては、オリンピック・パラリンピックの観戦がもっとも多くなっている
- 主な活動として、障がい者東濃ブロック体育大会での入賞者は県及び全国の大会参加につながっている
- 会員の高齢化により、活動が制限される
- 健常者とのふれあい関係が少ない
- 平成26年度から5年計画で、老人クラブ会員増強運動を展開中
- 地域に貢献する老人クラブを目指している
- 平成25年度に実施したアンケート調査では、1年間に運動やスポーツを行った人は、約53%で、その内「成人」では約25%である
- スポーツが行えない理由として「忙しい」「仕事で疲れている」が多くあげられる
- スポーツクラブチームや愛好会への所属状況は、約10%である
- ウォーキング、運動器具による運動など手軽な種目が多く行われている
- スポーツを「する・しない」の二極化が進行しつつある
- スポーツ少年団員の入団率が下がっている
- ※平成22年度 14.0%⇒平成26年度 12.3%
- 学校の体育の授業や運動部活動では十分なスポーツニーズに対応できない
- 少子化に伴い、運動部活動の存続に影響がある
- 幼児の運動能力、体力の低下傾向がみられる
- 保護者とともに、身体を動かす楽しさを知ることが必要

【基本方針】

「市民1スポーツ」

スポーツが深める地域の絆

充実したスポーツ環境

- 【**総合型地域スポーツクラブ**】
 - 市内の設立クラブ数 5クラブ
 - クラブの認知度（知らない65% 参加したい38%）
 - 会員の拡大とコミュニティづくり
- 【**スポーツ都市像**】
 - 市民が望むスポーツ都市像は「誰もがスポーツに親しみ、スポーツをとおして健康づくり、まちづくりを推進するまち」が67%を占める
- 【**スポーツ推進施策**】
 - 市民が望むスポーツ推進施策は「年齢・体力・技術に応じたスポーツ教室やスポーツ行事の充実」が46%
 - 健康、体力づくりに重点をおいたスポーツ振興」が42%

- 【**スポーツ施設の状況**】
 - 中津川公園には、県下でもトップクラスの施設が整備されている
 - B&G海洋センターをはじめ、多様な施設が整備されている
 - 各施設とも利用人数も多く稼働率が高くなっている
- 【**アンケート調査による施設の満足度**】
 - 市の施設の充実度は約40%
 - 市の施設の利用料金調査では、適当であるは、約26%
 - 要望施設では、室内トレーニング施設、ランニング施設が多くなっている
- 【**施設の管理**】
 - 市有財産（施設）運用管理マスタープランの施設再編計画の実施
 - 指定管理者制度の導入

【目標数値】

スポーツ実施率

成人の週1回以上
現状31.2%から

◎平成32年度
までに

**2人に1人
50%以上**

◎平成38年度
までに

**3人に2人
65%以上**

※この計画での“スポーツ”とは、運動競技及びレクリエーションその他の目的で行う身体運動を幅広く捉えたものです。

【スポーツとの関わり・目標】

トppers アスリート

年齢等に合わせた競技スポーツと地域スポーツとの連携・協働を図る！

障がい者

スポーツに主体的に参加する！

高齢者

スポーツを通じて健康で長生きする！

成人期

スポーツを通じて、充実した人生にする！

高校・大学

スポーツを通じて生涯の友をつくる！

中学期

生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り明るく豊かな生活を営む態度を育てる！

小学期

生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育て、健康の保持増進と体力の向上を図り楽しく明るい生活を営む態度を育てる！

幼児期

保護者と一緒に遊び、ボール遊びなどに取り組む！

【具体的施策】

- 各種団体との連携による人材発掘、育成
- 中津川市ひとづくり奨励金の交付
- 市内在住のトップアスリートによるスポーツ教室の開催

- 障がい者のスポーツ参加の支援
- スポーツ指導員の育成

- 高齢者のスポーツ参加の支援
- 健康体力増進に関する情報の提供

- スポーツを楽しむきっかけづくり
- ウォーキング・ジョギングコースの設定・充実
- 「スポーツプログラムサービス」の提供

- 「スポーツプログラムサービス」の提供
- アスリートの育成・活動支援
- 中津川市ひとづくり奨励金の交付

- スポーツを通じた心の成長
- 子どもの夢の推進
- 学校と地域の連携

- 身体を動かす習慣づくり
- 子どもの夢の推進

- 身体を動かす習慣づくり

- スポーツ推進委員活動のPR
- 地域での密着した活動への支援
- 活動しやすい地域ネットワークの構築

- 設立準備に向けたクラブへの活動支援
- 既存クラブへの事業・教団制導入に伴う支援
- 指定管理者制度導入に伴う支援

- 地域コミュニティを高める事業展開の促進
- 地元企業、大学との連携
- 地域資源を生かしたスポーツ活動の推進

- 安心・安全なスポーツ環境の維持
- ウォーキング・ジョギングコースの設定・充実
- 「市有財産（施設）運用管理マスタープラン」に基づく施設管理

- 学校開放施設の活用推進
- スポーツ施設の利用減免制度の見直し
- 利用者ニーズに応じた施設利用方法の見直し
- 地域・関係団体による指定管理者制度の導入

- 効果的、効率的な施設管理の推進
- スポーツ施設予約状況閲覧システムの更新

スポーツに関する情報やニーズの把握と活用